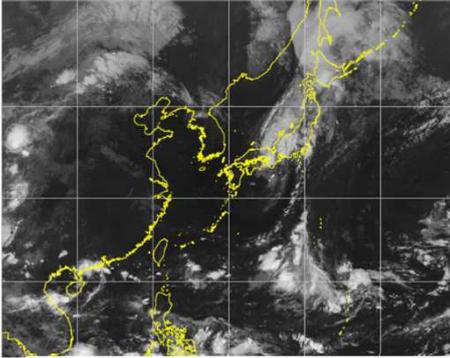


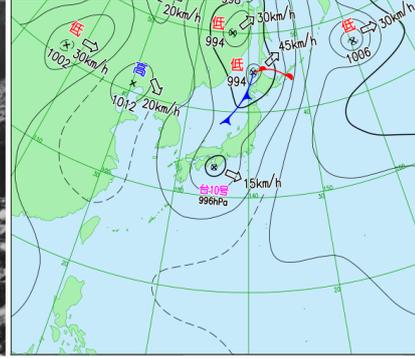
# 令和6年8月31日 台風第10号に伴う降雨における防災操作の概要

- 台風10号は8月29日8時頃に鹿児島県に上陸し、九州・四国を通して東海道沖に進み、紀伊半島の沖において、9月1日12時に熱帯低気圧に変わりました。
- 徳山ダム流域では、8月29日の6時頃から雨が降り始め、流域平均総雨量は約207mmを観測しました。特に8月31日11時に時間最大28.5mmの降雨を観測しました。
- この降雨の影響で、ダムへの流入量が増加し、洪水量(200m<sup>3</sup>/s)に達する出水となり、合計約9,586千m<sup>3</sup>(ナゴヤドーム約5.6杯分に相当)の水を貯留しました。

8月31日 9時 気象衛星赤外線画像



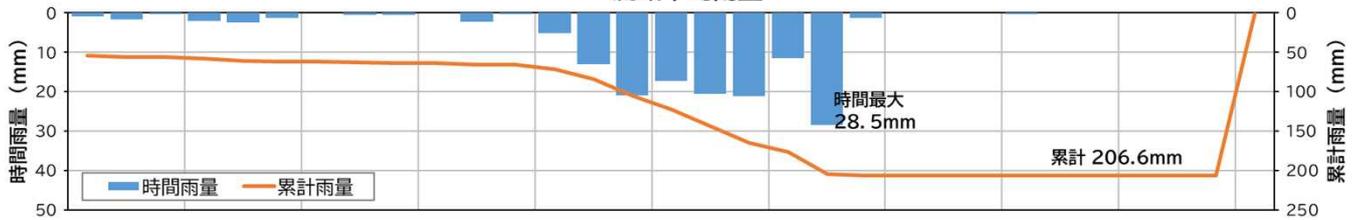
8月31日 9時 天気図



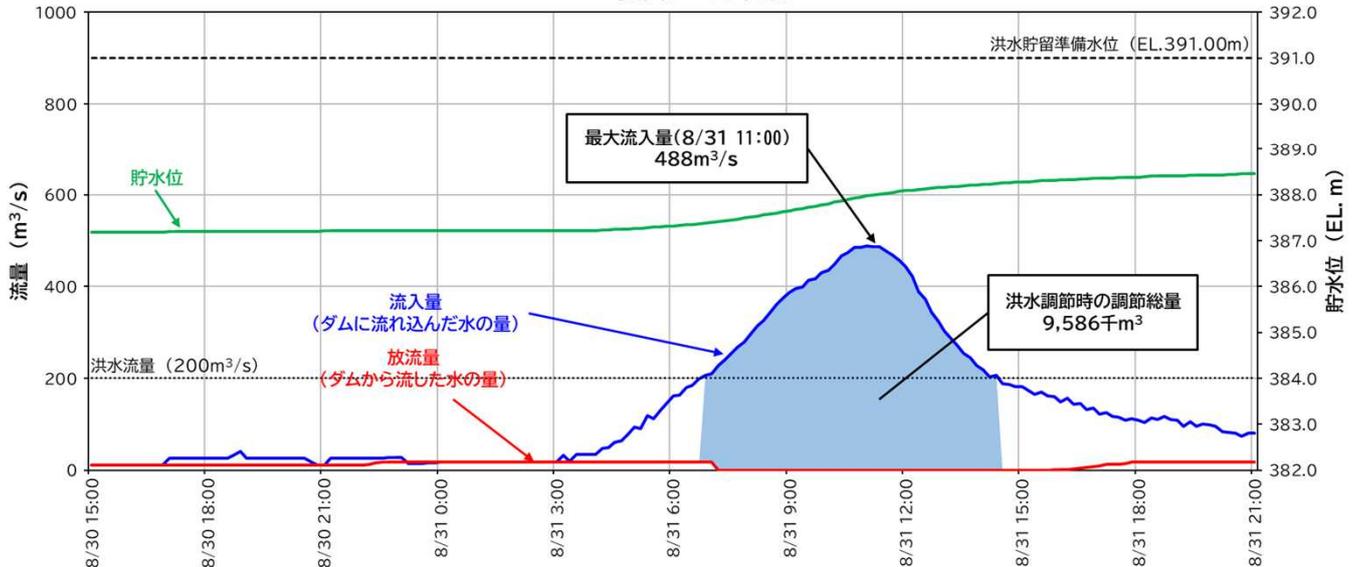
8月31日 9時 レーダ雨量



流域平均雨量



徳山ダムの状況



8月30日 9時 貯水位：EL. 387.19m



9月2日 9時 貯水位：EL. 388.80m



今回の一連の出水対応で  
貯水位は約160cm上昇